

多文化交流茶話会

平成26年8月30日(土)、港区民センターで開いた「多文化交流茶話会」は、私にとって、一生忘れられない良い経験でした。

4班 王建珍

私は現在「大阪中国帰国者センター」の支援相談員として働いています。仕事の内容は役所のケースワーカーとよく似ていますが、支援相手はほとんど中国語しか話せない日本人です。「中国残留邦人」という戦禍を越えて中国から日本に帰った方々です。

茶話会が順調に行われたのは、私が8年前から通いつけている「市岡日本語教室」の大西先生をはじめ、皇先生と小濱先生が、力になってくださったからです。とても感謝しています。

茶話会で中国茶の茶器・茶道具・茶葉及び淹れ方と飲み方をみんなに紹介しました。参加して下さった港区の地域の方々と「残留邦人」の関係者たち合わせて約50人は、私が自慢の故郷のお茶を美味しく飲みながら楽しく懇談していました。そんな和やかな雰囲気、私はとても感動しました。



日本に暮らしている私のような中国人は、日中関係が今後いい方向に向かっていくように願っていると思います。こういう機会に交流と理解が広がり、深まることを信じています。

私は今の仕事が好きです。この仕事に携われるのは、市岡日本語教室があったからです。

これからも市岡日本語教室での学習やボランティア活動に積極的に参加したいと思っております。

居酒屋の初体験

4班 李先偉

みなさんこんばんは、はじめまして李と申します。今年の4月に台湾から来ました。

市岡日本語教室では、日本語だけではなく、いろいろな知識を学べて、いい友達もできました。本当に感謝の気持ちを持って、毎日

楽しく勉強しています。

9月5日に、担当の原先生と他の先生と学習者たちと一緒に飲んできました。自分には居酒屋の初体験です。

他のお客さんたちは、みんながワイシャツを着ていて、サラリーマンみたいな感じでした。普段オフィスであまり大声で話すことはないサラリーマンは、ここでは全然違う人のようになっています。みんながシャツの袖を巻き上げて、飲んだり大声で笑ったりして、すごく盛り上がっていました。なんか、この光景がまるで日本ドラマに入り込んでいるように思いました。



私たちもビールで乾杯して、はしゃいだ調子で話し合っていました。日本の企業や慣習などについて、いろいろなことを勉強しました。すごく楽しい時間を過ごしました。

インドネシア語は面白い

—身近なインドネシア語—

4班 前田さん

たいそうなタイトルですが、実はインドネシア語の勉強を始めて1年と半年余り それも独学です。でも、ハマっています。「日本人にとって世界で一番簡単な言語である」って、ネットに出ていましたが僕もそう思います。

今回は文法、発音等はさておき、僕が「へっ」と思ったことなどを書こうと思います。その前に 予備知識としてこれだけは 知っておいて欲しいのは インドネシア語はインドネシアの標準語(公用語)であるということです。当たり前みたいですが、インドネシアは多数の島々からなり、その島々で独自の言葉があり、数百に及ぶらしいのです。

例えばバリ語、ジャワ語、スンダ語、パダン語などがあり、その統一語がインドネシア語です。これは中国語での北京語と広東語、福建語等との関係と同じようなことだと思います。また、隣国のマレーシア語とはほぼ同じです。そして この言語を公用語としているのは インドネシア、マレーシア、シンガポール、ブルネイの4カ国です。

さて、本論に入りますが、皆さんが知っている または聞いたことがあるインドネシアの言葉から。まず、オランウータン (orang hutan) でしょうか。文字はアルファベットです。読み方はアー、ベー、チェ、デー(ドイツ語の感じ)。他のアジア諸国の複雑怪奇?な文字を思い浮かべるとこれだけでもありがたいです。



次にシンガ (singa)、ライオンです。

そう シンガポールのシンガです。英語で Singapore、マレーシア語では Singapura (シンガプラ)で ライオンの街という意味です。

それでシンガポールの観光パンフレットにはマーライオンの写真

が載っているのでしょうか。頭がライオンで胴体は人魚です。マーライオンのマーはマーメイドのマーだそうです。

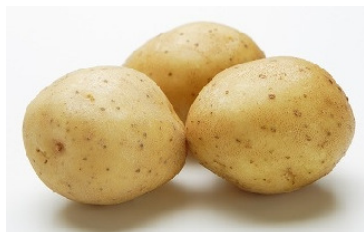
パンフで思い出しましたが、以前（今もあるのかな？）、『じゃらん』という旅行の本？がありました。インドネシア語で jalan (ジャラン) は、歩くの意味です。ついでに jalan jalan で散歩の意味になります。

旅行ではないのですが、北杜夫の小説に『船乗りクプクプの冒険』がありますが、クプクプ (kupukupu) は蝶々です。同じ言葉の重複は日本語と同じですね。蛇足ですが、当時 無名だった井上ひさしはこの小説をヒントに あの名作人形劇『ひょっこりひょうたん島』の着想を得た というのを何かで読んだ記憶あります。

話は動物に戻りますが ライオンといえば虎が来ますよね。虎はハリマウ (harimau) です。小学生ぐらいの頃、『怪傑ハリマオ』というテレビ番組がありました。三橋美智也が主題歌を歌っていました。「真っ赤な太陽～燃えている～」今でも歌えます。東南アジアを舞台にしたヒーローものですが実在した日本人がモデルになっているそうです。最後のウをオにしたのは、日本語の響きを考慮したのだと思います。

旅行のついでに、食べ物ですが、ジャガイモの語源はご存知のかわたが 多いと思います。念のために。

ジャガタラ芋から来ています。ジャガタラとは今の首都ジャカルタの古称です。ジャガタラから来た芋→じゃがいもです。因みにインドネシア語では



kentang(クンタン)です。果物では、ドリアン (durian)、ランブタン (rambutan) が知られていますが、duri はトゲのことで、トゲのある果物ということで an がついて durian といいます。同じように rambut は髪の毛です。髪の毛みたいということで an がついて rambutan です。こういう派生語はインドネシア語の特徴のひとつです。

なんとなく覚えやすい言語に思いませんか？もうひとつ、沖縄料理にゴーヤチャンプルってありますね チャンプル (campur) は、混ぜる という意味なんです。じゃあ、料理そのものがインドネシアかマレーシアから入って来たのかな と思ったら、ちゃんぷる は、沖縄の方言である という説もあります。沖縄のかた 若しくは料理に詳しいかた どちらが正しいのか教えてください。ついでながらチャンプルが九州を通り長崎に行って、チャンポンになった という説もあります。

長くなって 読むのもお疲れだと思います。最後に歌の話します。これも小学5年か6年頃、「可愛いあの娘は誰のもの」という歌が流行りました。今でも保育園で歌っているところがあるらしいです。子供っぽい歌ですが、最後のフレーズの ノーナマニサパヤンプーニャン (と聞こえた) が何のことか、何をいつてるのか分からなかったのが約50年たった今 わかりました。インドネシア語会話のCDを聴いていたら インドネシア民謡ということでこの歌が流れて来ました。これにはビックリしました。短いので、1番の歌詞 終わりまで。

Nona manis siapa yang punya
Nona manis siapa yang punya
Nona manis siapa yang punya
Yang punya kita semua.

50年前、分からなかったのは「可愛いあの娘は誰のもの？僕らみんなのもの」の原語部分でした。近くにインドネシアの学習者がいたら、この歌詞 見せてください。一緒に歌っ

てくれますよ。実証済みです。

【あとがき】

本当は、「文法とか発音がいかにか日本人にとって容易であるか」さらにインドネシア語の成立過程（これがすごく興味深いものでした）について書こうと思っていたのですが、こんなものになってしまいました。でも、「インドネシア語 身近になったわ」と思っていただけいたらありがたいです。それと、独学では、「聞く・話す」が、CD相手です。野球に例えれば ピッチングマシン相手に打っているようなもの。練習には違いないけど 言葉が通じて意志疎通 できた時のうれしさがなく、間違いを直してくれることもない。だとすれば 僕たちが市岡でやっていることの意義がすごく理解できます。生きている人間同士の 会話では、恥もかくし、通じなくて情けない思いもするし、でも 機械を相手にするよりはるかに多くの情報(言葉と一緒に相手の表情など)が海馬にしっかり記憶されると思います。市岡で楽しく学習しましょう。

ラーメンの事で質問です

3班 山口さん

みなさんこんにちは。先日の教室で私のすぐ横のボランティアの先生が私にラーメンの事で質問ですと言われました そのボランティアの先生の担当は台湾のかたでした。質問の内容は、味噌ラーメンは北海道。醤油と塩はどこの方ですか？と。

その先生も学習者にきかれたのでしょうか。私もすぐに答えられませんでした。とっさに私の知りうる情報を頭のなかでかきまぜて、醤油は関東で塩はおもに関西ですとこたえました。その先生も担当の台湾の学習者に同じこ



とをつたえてました。その日はベトナムの女性の方が私の担当でしたのでラーメンの事が話にあがり、味噌ラーメンはたべましたかと聞くと、食べてませんとの事。味噌ラーメンは味噌汁の中に麺を入れて食べるものだと思ってましたと言われました。違うよと言って、今度ぜひ食べに北海道の専門ラーメン店に行きなさいと言いました。ラーメンのことでこんなにもいっぱい話が広がってその日の教室は楽しく終わりました。又、ラーメンの醤油と塩はおもにどこの地方かしている方は私に教えてください。私もまた日本の事を外国の方と一緒に勉強していきたいです。

今後の予定

11月14日 ORC200 生涯学習
センター (弁天町駅すぐ)

11月30日 秋の遠足

12月5日 区民センター1階大ホール (公開教室)

この日は一般の方に教室を公開し見学してもらいます。
6時30分～8時(いつもより30分早目に開始終了します)

12月26日 オープンクラス (茶話会)

1月1回目は1月9日の予定です。

上記以外の日本語教室は、毎週金曜日のよる7時から8時30分に港区民センターの2階で行っています。

